

動的製造装置モデルを利用した製造シナリオのデジタル 検証環境構築に関する国際標準化

事業概要

2019年度終了

標準化分野

| | | | | | | | |
|------|--|----|-----------|-----|------|------|-----|
| 事業略称 | 動的モデル | 期間 | 2017～2019 | 予算元 | 野村総研 | 事業形態 | 再委託 |
| 概要 | 本事業では、 製造ライン上の事前検討、計画実行などを支援する情報環境の構築に必要な国際標準を開発する 。ISO 16400シリーズについて、 Part1 (全体概要)と Part2 (装置モデルの形式的構造と構成規則)の原案を作成し、さらに Part3 (動的製造装置モデルの使い方と提供サービス)の原案作成にも着手して国際標準化を進める。また、本国際標準の開発を日本が主導し、国内では本提案の実現性を確認するとともに、その普及手段についても検討する。 | | | | | | |
| ゴール | ISO 16400(仮想製造システムのための動的製造装置モデル)の各Partの国際標準を開発する。 | | | | | | |

主な取組実績 (委員会方式)

| | |
|--|--|
| <p>【2017年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO 16400 Part1 : NP投票結果の反映と、CD開発を実施。 ISO 16400 Part2、Part3 : NP提案に向けた準備を実施。 <p>【2018年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO 16400 Part1 : CD開発を完了し、CD投票 (2018/12/21-2019/2/14) が開始された。 | <ul style="list-style-type: none"> ISO 16400 Part2、Part3 : NP投票 (2018/9/27-12/20) が開始され、承認された。 <p>【2019年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO 16400 Part1 : CD投票結果を反映した。DIS投票 (2019/11/27-2020/2/19) が開始され、承認された。2021年3月発行予定。 ISO 16400 Part2、Part3 : CD開発を実施。Part2,Part3は、開発を加速する。 <p>その他、規格開発に必要な実験・調査を実施した。</p> |
|--|--|

| | |
|-------|---|
| 事業活動費 | 総額 49.2百万円 (【内訳】2017 : 20M、 2018 : 15M、 2019 : 14.2M) |
|-------|---|

